

# 市野雅彦

## 一軌跡、丹波にて

### 2015年9月5日(土)～2016年2月14日(日)

会場／兵庫陶芸美術館 展示棟 1F 展示室3

休館日／月曜日

[ただし、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)、2016年1月11日(月・祝)は開館、9月24日(木)、10月13日(火)、2016年1月12日(火)は休館]

開館時間／10月31日(土)まで 10:00～19:00

11月1日(日)から 10:00～18:00

[入館は閉館時間の30分前まで]

観覧料／同時開催中の特別展の料金にそれぞれ含まれます。

「坐 丹波(夏) - 田中寛コレクション 蒐集の軌跡 -」 6月6日(土)～9月6日(日)  
一般 600(500)円、大学生 500(400)円、高校生 300(200)円、中学生以下 無料  
「THE TAMBA(秋) - 秋麗に古丹波を愛でる -」 9月19日(土)～11月29日(日)  
一般 1,000(800)円、大学生 800(600)円、高校生 500(400)円、中学生以下 無料  
「再 丹波(冬) - 丹波の登窯とその時代 -」 12月12日(土)～2016年2月14日(日)  
一般 600(500)円、大学生 500(400)円、高校生 300(200)円、中学生以下 無料  
※9月8日(火)～9月18日(金)、12月1日(火)～12月11日(金)は本展のみの開催。  
一般 200(160)円、大学生 150(120)円、高校生 100(80)円、中学生以下 無料  
※( )内は前売り券および20名以上の団体割引料金です。ただし、本展のみの開催期間の前売り券はありません。  
●65歳以上の方は半額になります。●障害のある方および介護者1名は半額になります。  
●17時以降に観覧される場合は夜間料金(半額)になります。

主催／兵庫陶芸美術館、丹波新聞社

作品写真：(日月) 2009年



## Masahiko Ichino, his trace in Tamba

# 市野雅彦

一軌跡、丹波にて



### 市野雅彦 Masahiko Ichino

- 1961 兵庫県篠山市に生まれる
- 1995 日本陶芸展大賞・秩父宮陶杯
- 1999 日本の工芸「今」百選展 (三越エトワール、パリのフランス 他)
- 2000 茶の湯 - 現代の造形展 (ヘルシンキ市立美術館、フィンランド) 国際陶芸交流展(中国美術館、北京) アジア国際現代陶芸展 (台北県立鶯歌陶器博物館、台湾)
- 2006 日本陶磁協会賞
- 2009 茶の湯の造形展大賞(田部美術館、島根)
- 2010 現代の茶 - 造形の自由(菊池寛実記念 智美術館、東京) 現代工芸への視点 - 茶事をめぐって(東京国立近代美術館工芸館)
- 2011 兵庫県文化賞



[作品写真 上段左から]  
《線紋器》1999年  
《開》1995年 丸沼芸術の森  
《線刻紋花器》1987年  
《彩泥器》1998年  
[作品写真 下段左から]  
《壺》1990年  
《赤トベ土壺》2014年  
《陶器(椅子)》2003年  
《線紋器》1996年

## Masahiko Ichino, his trace in Tamba

兵庫陶芸美術館では、国内外で活躍する著名な作家を招聘し、若き作り手たちに刺激を与え、幅広の人々により深く陶芸に親しんでいただくため、著名作家招聘事業「アーティスト・イン・タンバ」を実施しています。開館10周年を迎える本年度は、当館の位置する丹波焼の里で生まれ育ち、その伝統と精神を受け継ぎながら、独特のかたちと造形性を追求し続け、現代の日本陶芸界において独自の存在感を見せている作家・市野雅彦氏(1961-)をお迎えします。

1995年、34歳で日本陶芸展大賞を受賞し、丹波の名を一躍全国に知らしめた市野氏は、その後も独立独歩で創造的な丹波焼の可能性を探りながら、独自の造形を創り上げてきました。用途よりもかたちや独創性に重きを置きつつ、中が空洞の「うつわ」であることにこだわって制作を続け、精力的に様々なかたち、模様、技法に挑戦して、一つのスタイルに留まらない、自由な発想を貫いてきました。一方、丹波の土や材料、焼成方法にも

こだわりの、自らを育んだ風土への熱い思いもまた、作品に込められています。精巧に施された線模様や、塗り重ねた化粧土の表面を荒らして創り出した独特の肌合い、曲線や丸みを活かした有機的なかたちなど、プリミティブな感覚とモダンな感覚の融合するユニークな造形の世界は、まるで生きもののように艶めかしく、ときにユーモラスな表情をたたえて、市野氏ならではの親しみやすい魅力に満ちています。そしていま、新たな気持ちで丹波と向き合い、丹波焼の伝統が持つ豊かな自然と力強いエネルギーを受けとめて、さらに新しい造形へと向かっています。

本展では、日本陶芸展大賞に輝いた《開》(1995年)をはじめ、細かい刻文がびっしりと施された装飾性の強い初期の作品から、丹波の伝統技法である赤土部(あかどべ)やイッチンなどを駆使した最新作までを展覧し、ここ、丹波の地で歩んできた市野氏の造形の軌跡の一端をご紹介します。

### 【アトリエ訪問】

市野雅彦氏の工房を訪ね、アトリエの様子やギャラリーなどを見学。なかなか触れることのない作家の創造の現場で、ゆっくりとお話を伺います。  
10月24日(土)、12月19日(土)、2016年1月23日(土)  
いずれも14時より ※参加費無料  
※事前予約制、各回とも定員20名(応募者多数の場合は抽選)  
※応募締切は10月6日(火) 17時  
(3回分一括締切、定員に達しない場合は随時追加募集)  
※詳しくはお問い合わせ下さい。

### 【アーティスト・トーク】

市野雅彦氏による展示解説を行います。  
聞き手：マルテル坂本牧子(当館学芸員)  
11月28日(土) 13時30分より  
※予約不要、展示会場でいきます(観覧券が必要です)

### 【当館学芸員によるギャラリートーク】

9月27日(日)、10月11日(日)、11月8日(日)、12月13日(日)、2016年2月14日(日) いずれも11時より(観覧券が必要です)

### 【同時開催の特別展】

坐 丹波(夏) - 田中寛コレクション 蒐集の軌跡 - 6月6日(土)～9月6日(日)  
THE TAMBA(秋) - 秋麗に古丹波を愛でる - 9月19日(土)～11月29日(日)  
再 丹波(冬) - 丹波の登窯とその時代 - 12月12日(土)～2016年2月14日(日)



### 交通のご案内

- 【鉄道・バスをご利用の場合】
  - JR福知山線「相野駅」下車  
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ楽師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車  
※相野駅発バス時刻 9:35、10:20、12:50、15:45  
土日祝は11:50、13:50が増便(2015年8月現在)
  - 自動車をご利用の場合
    - 舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分、または丹南篠山口ICより約20分
    - 中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分
    - 阪神方面より国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分
    - 駐車場無料、大型可

